

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公表番号】特表2002-528992(P2002-528992A)

【公表日】平成14年9月3日(2002.9.3)

【出願番号】特願2000-578920(P2000-578920)

【国際特許分類】

H 04 J	13/04	(2006.01)
H 04 B	7/26	(2006.01)

【F I】

H 04 J	13/00	G
H 04 B	7/26	1 0 2
H 04 B	7/26	C

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月19日(2007.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】符号化信号を用いる通信システムの、所望の符号化信号及び1またはそれ以上の妨害信号を含む受信複合信号から所望の符号化信号を抽出する方法であつて、

a) 1つのフレームの少なくとも1つの妨害信号のビットレートを求め、

b) 少なくとも1つの妨害信号の求めたビットレートを引き続き受信されたフレームの少なくとも1つの妨害信号に割り当て、

c) 引き続き受信されたフレームの少なくとも1つの妨害信号を求めたビットレートを用いて求め、

d) 引き続き受信されたフレームの複合信号(108、198)から求めた少なくとも1つの妨害信号(182)を差し引くことにより、引き続き受信されたフレームの所望の符号化信号を抽出するステップより成る抽出方法。

【請求項2】e) 少なくとも1つの妨害信号の引き続き受信されたフレームを割り当てられたビットレートを用いて復調することにより、少なくとも1つの妨害信号をそれ以外の妨害信号から隔離するステップをさらに含む請求項1の抽出方法。

【請求項3】ステップe)は、所望の信号を抽出するための複数の制御信号を発生させる請求項2の方法。

【請求項4】複数の制御信号は、伝達フォーマット指示(TFI)信号、送信電力制御(YPC)信号、信号対雑音プラス妨害(SNI)信号より成る請求項3の抽出方法。

【請求項5】ステップe)は妨害除去により実行される請求項2乃至4のうち任意の1項の抽出方法。

【請求項6】ステップe)は結合検波により実行される請求項2乃至4のうち任意の1項の抽出方法。

【請求項7】f) 少なくとも1つの妨害信号の引き続き受信されたフレームの実際のビットレートを求め、

g) 少なくとも1つの妨害信号の引き続き受信されたフレームを実際のビットレートを用いて復調することにより、所望の信号を抽出するステップをさらに含む請求項2乃至4のうち任意の1項の抽出方法。

【請求項8】ステップg)は、結合検波により実行される請求項7の抽出方法。

【請求項 9】ステップ g)は、少なくとも 1 つのレイク受信機により実行される請求項 7 の抽出方法。

【請求項 10】ステップ g)は、所望の信号を抽出するための複数の制御信号を発生させる請求項 7 乃至 9 のうち任意の 1 項の方法。

【請求項 11】複数の制御信号は、伝達フォーマット指示信号、送信電力制御信号、信号対雑音プラス妨害信号より成る請求項 10 の抽出方法。

【請求項 12】ステップ a)は、妨害信号のフレームの伝達フォーマットに指示信号を隔離し、該伝達フォーマット指示信号を用いて該フレームの実際のビットレートを求めるステップより成る請求項 4 または 11 の抽出方法。

【請求項 13】符号化信号を用いる通信システムの、所望の符号化信号及び 1 またはそれ以上の妨害信号を含む受信複合信号から所望の符号化信号を抽出する装置であって、

a) 1 つのフレームの少なくとも 1 つの妨害信号のビットレートを求める第 1 の信号処理器と、

b) 少なくとも 1 つの妨害信号の求めたビットレートを引き続き受信されたフレームの少なくとも 1 つの妨害信号に割り当てる第 2 の信号処理器と、

c) 引き続き受信されたフレームの少なくとも 1 つの妨害信号を求めたビットレートを用いて求める第 3 の信号処理器と、

d) 引き続き受信されたフレームの複合信号 (108 、 198) から求めた少なくとも 1 つの妨害信号 (182) を差し引くことにより、引き続き受信されたフレームの所望の符号化信号を抽出する抽出手段 (190) とより成る抽出装置。

【請求項 14】第 1 の信号処理器はレイク受信器 (112 - 118) のバンクより成り、各レイク受信器 (112 - 118) はそのレイク受信器に関連する符号を有する信号だけを復調し且つデスプレッディングし、各レイク受信器 (112 - 118) は出力を制限する決定装置 (122 - 128) へ送られる決定変数信号を出力し、決定装置 (122 - 128) は再変調 / 再スプレッディングユニット (132 138) へ出力し、このユニットは再変調済み且つ再スプレッディング済みの信号をチャンネル再構成フィルタ (142 - 148) へ送り、フィルタ (142 - 148) はレイク受信器 (112 - 118) からチャンネル予想信号 (C E 1) を受けて再構成済み信号を与え、この再構成済み信号は加算器 (150) へ送られて信号 (155) を与え、この信号はその後、個々の再構成済み信号 (182 - 188) に対応する信号 (172 - 178) を差し引く減算器 (162 - 168) のバンクにおいて減算される請求項 13 の方法。

【請求項 15】別のレイク受信器 (202) と T F I バッファ (254) を有し、この別のレイク受信器は減算器 (190) からの信号を処理して、

i . 専用の物理的データチャンネル (D P D C H) バッファ (252) へ送られる復調済み且つデスプレッディング済みの信号と、

i i . 伝達フォーマット指示 (T F I) 信号 (222) とを与え、

T F I 信号は T F I バッファにおいてバッファリングを施され、ビットレートが測定されてビットレート調整回路 (264) へ送られる請求項 14 の方法。

【請求項 16】この別のレイク受信器 (202) は伝達電力制御 (T P C) 信号を与え、それにより送信器が適当な電力レベルで受信器へ信号を送信するのを可能にする請求項 15 の方法。

【請求項 17】別のレイク受信器 (202) が、信号対雑音プラス妨害 (S N I) 信号 (242) を与える請求項 15 の方法。

【請求項 18】第 1 の信号処理器は第 1 の結合検波装置 (400) より成り、この結合検波装置は信号をそれらの信号符号に関連して処理することにより T F I 信号を得る請求項 13 の方法。

【請求項 19】第 1 の信号処理器は、所望の信号を抽出するための複数の別の制御信号を与える請求項 18 の方法。

【請求項 20】複数の別の制御信号は、送信電力制御 (T P C) 信号と、信号対雑音プラス妨害 (S N I) 信号とより成る請求項 18 の方法。